

活かす通信

2021年3月 (164号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言 元時事通信記者 篠田憲明

「いばら」の道続く菅義偉首相

★★

菅義偉首相は1月28日に第三次補正予算を成立させ、続いて改正コロナ特別措置法や改正感染症法・検疫法を2月13日に与党などの賛成多数で成立させた。同月17日から医療従事者へのワクチン接種開始と相まって、これにより菅内閣は今年の最大課題であるコロナ感染の拡大阻止に向けた環境整備を整えたと言える。しかし、自民党国会議員の夜の銀座通いなど「自粛破り」や、後5か月に迫った東京オリパラの組織委員会会長だった森喜朗元首相による「女性蔑視発言」に伴う引責辞任などの問題が勃発。森氏の後任人事は自らの「介入」で何とか橋本聖子五輪担当相に落ち着いて、「さあコロナ対策に全力を傾注しよう」と反転攻勢を狙った菅義偉首相だが、そこに降って湧いたのが首相の長男・正剛氏と総務省幹部との接待会食問題。

これは安倍首相時代の「森友事件」以上に深刻な問題と孕んでいる。行政が歪められたと思わせまいよう国家公務員倫理法・規程違反があり、これには事細かく「利害関係者」との接触を規制しているのである。総務省は2001年に小泉内閣の中央省庁再編により、自治省と郵政省が統合されBS、CSの事業を運営する東北新社の部長・正剛氏（菅首相長男）は紛れもなく「利害関係者」なのである。普通の業者は課長補佐クラスしか対応してくれない。それが、年数回も現役局長を接待出来たのである。そこに忖度はなかったのか。菅首相は国会の野党攻撃に対し「長男は別人格である」と色をなして無関係を強調したが、「総務官僚」にとってはそうはいかない。総務副大臣、総務相時代を経験した菅首相は同省を“天領”にしていると言われるように、その影響力は絶大なのである。官房長官時代には「内閣人事局の人事権をテコに霞が関を支配した」（厚労省幹部）と評される。この首相長男による総務省幹部接待来年度予算の年度内成立の為には3月5日前後の衆院通過が必定とされる。コロナ解決はもとより5か月後に迫った東京オリパラ開催問題、そして長男の総務相幹部接待問題など険しい茨の道が続くのだ。

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「香港について①～香港は死んだのか?～」

★★

香港では昨年 6 月に施行された香港国家安全維持法違反の容疑で、民主活動家や民主派議員などが相次いで逮捕されました。市民の間には諦めムードが漂う中、これでビジネスハブと金融センターとしての「香港が死んだ」との見方が広がっているようです。

私がこの「香港の死」という暗い未来を予感させる言葉を聞くのは今回が 2 回目です。添付の写真は、私が香港駐在の時に購入した 1995 年 6 月 26 日発行のビジネス誌「FORTUNE」の表紙です。そのタイトルの” The Death of Hong Kong” で、私は初めてその言葉を聞きました。「すぐに北京がそのやり方を変えなければ、グローバル・ビジネスセンターとしての旧植民地の余命はいくばくもない」という内容の記事ですが、1997 年 7 月 1 日に中国に返還された香港はその後死んだのでしょうか? 北京のやり方はより厳しいものになったようですが。

少なくとも香港証券取引所の代表的な株価指数であるハンセン指数の動きを見る限り、香港経済は中国への返還後、死ぬどころか更に発展したと言っていると思います。同指数は、この雑誌の発行日から今年の 2 月 18 日までの凡そ 26 年間に、232% 値上りしました。その間には中国への返還だけでなく、アジア通貨危機、SARS の発生、チャイナショック、民主化デモなど数多くの悪材料があったにもかかわらずです。因みに、同じ期間の我が国の日経平均の上昇率は、アベノミクスに囃されても、日銀がいくら ETF を買っても、30 年半ぶりに 3 万円台を突破しても、107% でした。

では、今回の「香港の死」の予感は当たるのでしょうか?

香港はよく「東洋の真珠」と呼ばれていたもので、私は香港経済の行方も真珠に譬えて考えていました。こんな感じです。元々香港は一つの小さな真珠の粒でした。その粒が中国経済の発展を受けどんどんと層を厚く、そして輝きを増していききました。更に今度は中国広東省の珠江デルタの深センなどの都市やマカオに、恰も真珠のネックレスのように高速鉄道や大橋などによって繋がっていく、というイメージを持っていました。

そしてこのイメージは、下の地図が示す中国政府が力を入れるグレイターベイエリア (大湾区) 構想と似ています。でははたして、これからの中国経済の命運を握るとも思われるこの経済圏構想に組み込まれた香港は上手くやっていけるのでしょうか?

今から17年前になりますが、シンガーソングライターの松任谷由美は雑誌のインタビューで、香港の魅力について次のように語っています。少し長いですが引用します。「中国の文化ってね、足を向けて寝られないほど古代から日本人の身体の中に入り込んでいる。それがイギリスのシノワズリになっているところが魅力ですね。たとえヨーロッパのブランド品であっても、香港で手に取るということ自体に、アジアの良さ、楽しさを味わえる。モノに対してお金を払うだけじゃなく、シチュエーションが楽しいわけで。そういうものが、どんなことが起こっても香港には脈々とあるな、と思います。」

やっぱりユーミンの感性は鋭いと思います。その辺の藪にらみの学者や評論家とは違いますね。

私も香港は、たとえ中国の真珠のネックレスの一部になっても、来るアジアの時代にまだまだ楽しいシチュエーションがあるのではないかと感じています。

1995年6月26日発行の「フォーチュン」



グレイターベイエリア構想



★★

ムッシュ望月の政経・映画レポート

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

去年はコロナ禍でもありながら年間 84 作品を観た。映画館は密室ながら換気の設備は充実しているので安心はしている。今年に入り好調な出足で既に 11 作品を観た。ランキングの第 1 位は「パリの調香師」、第 2 位は三浦春馬の初演作品の「ドリパス森の学校」、第 3 位は綾野剛主演の「ヤクザと家族」、第 4 位は「おとなの事情」、第 5 位は「私を食い止めて」、第 6 位は「大コメ騒動」、2 月に入り、役所広司主演の「素晴らしき世界」を観た。「ヤクザと家族」、「素晴らしき世界」の 2 作品とも刑務所から出所したヤクザの物語。親を知ることなく、親の愛を知ることなく育ち、物心が付く頃には、不良の仲間との付き合いが始まり、ヤクザの世界に踏み入る事に、そして熱い気持ちから勢い余って殺人を侵し刑務所入り、十数年のムシヨ暮らしの後、娑婆出でることになるが、社会の変化は激しく、反社会的勢力に身を置いていた者には、社会復帰をするには非常に厳しい世界であった。最低の生活を維持する為の生活保護の受給も認められていない。また元の仲間の生きる世界に戻るしか道は残されていないのか。「素晴らしき世界」では、主役・三木（役所広司）は保護司や近所の人にも恵まれ更生の道を歩む、耐えることの大事さも学び、子供時代に経験をすることがなかった社会の暖かさを知り、持病の悪化で氏を迎えるのだが、彼はこの世の天国を味わうことに。2 作品とも現在の世相を表すヤクザ作品である。日本もそろそろバブルの後遺症から立ち直っても良い頃だ。

相場雑感：

今の世界の株式市場の雰囲気を表わす表現は「のど元過ぎれば熱さ忘れる」に尽きる。米ゲームストップの株の乱高下が米国の証券会社やヘッジファンドの破綻を招くほどに市場が大きく揺れたからである。2002 年にハイテク株バブルが崩壊した後、ウォール街を襲ったパニックを思い出させる。株高を狙ったエンロンやワールドコム、粉飾決算と、粉飾に関わった監査法人、発行元の企業にこびてくず株を推奨した証券会社のアナリスト、市場の誰もが実態をゆがめ、投資家は株価を信じられなくなり、市場を避けるようになった。東京市場でも大型の株式分割を行い、市場をカジノ化する企業（ライブドア等）が跋扈した。ゲームストップの株価動向を見る限り、年初までは弱気なファンドと強気の投資家という、企業の評価を基にした対立であった。それが 1 月下旬に入ると、ファンドの空売りとファンドの買い戻しを迫る個人投資家の買いによる腕力での戦いの勝負に変わった。この局面では、企業の分析力ではなく、資金量が勝負を

決めることに。SNS を利用してファンドを打ち負かした個人投資家も、株価が最高値の 10 分の 1 まで急落する過程で大損をした。このような荒れ相場が続くことになると、地道にコツコツと資金を増やしたい人々が株式市場を避けることになりかねない。日経平均が 30000 円乗せに迫っている局面だけに、投資家が企業への関心を高め、企業もそれに応えられるが、今後の日本の株式市場の発展が決ると入っても過言ではない。トヨタ、ソニー、東芝、日立等国际優良株の復活に期待したい。東京オリンピックの開催に向けての準備も忘れずに！！

★★

株式投資力クイズ

ムッシュ望月

今月はコロナワクチン・ニュースからの出題です

★★

- 1, DNA についての記述ですが、間違いを一つ選択ください。
 - A : DNA はデオキシリボ核酸の略称である。
 - B : 人をはじめ地球上の多くの生物が持っている。
 - C : 遺伝情報の継承と発言を担う高分子物質である。
 - D : 1 本の鎖で連なる拡散である。

- 2, RNA についての記述ですが、間違いを一つ選択下さい。
 - A : RNA はリボ核酸の略称である。
 - B : DNA は主に核の中で情報の蓄積と保存を担う。
 - C : RNA は DNA に比べて安定的である。
 - D : RNA は一時的な処理を担う。

- 3, ヒトゲノムについての記述ですが、間違いを一つ選択下さい。
 - A : ヒトゲノムの NA 配列は 30 億文字である。
 - B : 新型コロナウイルスの細胞が持っている遺伝子全体を指すゲノムは、およそ三万塩基である。
 - C : 膨大なゲノム情報を読み取る作業ういシーケンスと言い、読み取り装置のことをシーケンサーという。
 - D : 最近の AI の急速な発展により、ゲノム配列を迅速に解析できるようになった。

4、新型コロナについての記述ですが、間違いを一つ選択下さい。

- A：解析の結果、自然由来のものと判明した。
- B：SARS は完成品であった。
- C：新型コロナは未完成品であった。
- D：コロナウイルスの原型はコウモリ由来である。

5、新型コロナに関する中国の対応についての記述である、間違いを一つ選択下さい。

- A：中国政府は武漢感染で都市封鎖を行った
- B：新型コロナウイルスの存在を公表した医師は、自己批判させられた。
- C：その後、その医者はコロナに感染死亡した。
- D：トルコは中国製の検査キット等の使用を拒否した。

★★

お知らせ：3月のイベント

★★

- 03月03日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所
- 03月05日（金）：17：00～ラルゴ投資クラブ、イカス事務所
- 03月09日（火）：16：00～イカス投資塾（昼間）、イカス事務所
- 03月16日（火）：18：30～イカス投資塾（夜間）、イカス事務所
- 03月18日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所
- 03月19日（金）：14：00～楽々投資クラブ、リモート
- 03月23日（月）：19：00～アマルフィ投資クラブ、リモート
- 03月25日（木）：16：00～東京3E投資クラブ、リモート
- 03月27日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

ICAS特別イベント：

03月17日（水）：15：00～NP0イカス総会

03月24日（水）：14：00～新企画 サロン・ド・川柳

☆投資クラブの会員の年間運営費 36,000 円です。イカス投資塾の参加費は1回 3000 円で、昼間講座（毎月第2火曜日午後4時から2時間）と夜間講座（毎月第3火曜日午後6時30分から2時間）があります。

☆当メルマガの配信登録はホームページからお願い致します。

<https://88auto.biz/mangaseisaku/touroku/entryform9.htm>

☆アドレス変更、配信解除連絡はメルマガ本文中よりお願い致します。

☆具体的な銘柄をご希望の場合は週刊有料メルマガをお申込みください。

週刊有料メルマガ：年間費用 24,000 円、毎月日曜日配信です。

cgi.toushi-club.com/mmoushikomi.htm

クイズの回答：

- 1, D で、二重螺旋構造が特徴である。
- 2, C で、RNA は DNA に比べて不安定である。
- 3, B で、新型コロナのゲノムは三億塩基である。
- 4, A で、単なる自然由来のものではない。
- 5, D で、エルドアン首相は中国からの支援を評価している。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

イカス通信発行人：特定非営利活動法人イカス www.toushi-club.com

*当メールマガジンについてのご意見は以下のメールにお願いします

メール：staff@toushi-club.com

☎：03-3432-5859 FAX:03-3432-5869

発行責任者：木下宇一郎

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★